

| | | | | |
|---|--|------|-----------|-------|
| 科目番号 | 1401 | 領域区分 | 医療保健情報学領域 | |
| 学年 | 配当セメスター | 区分 | 単位数 | 授業時間数 |
| 1・2 | 前期・後期 | 必修 | 2 | 30 |
| 授業科目名 (英文) | ヘルスインフォマティクス特論 I 【臨床情報処理論】 (Health Informatics I: Clinical Information Management) | | | |
| 担当教員名 | 石原 照夫 | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | |
| <p>【授業概要】データ、情報、知識の関係を考察し、それぞれにどのように向き合うべきか、その上で健康・医学・医療関連情報を読み解く(分析、評価、活用)ポイントを学修する。インフォームド・コンセントと情報提供方法・個人情報保護の問題、臨床試験でのエンドポイントの設定・評価についての問題点を提示する。また、健康・医療に関する諸問題解決のために病院情報システム、公的統計データ、各種オープンデータや診療ガイドラインの活用方法を探求する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・医学・医療関連情報や論文を的確に読み解く能力を習得する。 健康・医学・医療関連の諸問題に対し、どのような情報が必要かが分かり、収集・分析して、問題解決のための適正な研究計画・政策提言・行動を立案できるよう(情報リテラシーな人)になる。 自らの問題意識に必要なデータベースを構築できるようになる。 | | | | |
| 準備学習等 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 各授業には、準備学習として課題レポート、論文抄読等が課せられている。その内容は、Desknet's に掲載されるので、必ず確認すること。提出物については、授業前日の17時までに、メール添付で提出すること(提出アドレス: t-ishihara@thcu.ac.jp)。 なお、各授業(第15回を除いて)のキーワードが授業計画に記載してある。事前に学習しておくことが望ましい。 講義・演習 教室内30時間(15週×2時間) + 予・復15時間(15週×1時間) | | | | |
| 成績評価の方法 | 授業出席状況・受講態度(プレゼンテーションへの積極性・内容)(30%)、課題レポートの内容(70%)で評価する。 | | | |
| テキスト | ・特定のテキストはない。授業に関連した資料を desknet's に掲載する。 | | | |
| 参考図書 | <ul style="list-style-type: none"> Robert E Hoyt & William R Hersh ed. Health Informatics: Practical Guide. Seventh Edition. Tennessee: Lightning Source Inc. 2018. 中山和弘ら: ヘルスリテラシー(健康を決める力) http://www.healthliteracy.jp/ 「統合医療」情報発信サイト: 情報の見極め方 http://www.ejim.ncgg.go.jp/public/hint/index.html 松田雄馬: 人工知能の哲学(生命から紐解く知能の謎)。東海大学出版。 | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 研究方法特論 I、II に関連する内容が多いが、この科目では健康・医学・医療関連情報を読み解く能力(情報リテラシー)を修得することに重点が置かれている。 質問は授業終了後教室で受け付ける。 課題レポート等のフィードバックは授業中に行う。 | | | |

授 業 計 画

- 第 1 回：データ・情報・知識について
データ、情報、知識の関係、情報の有用性を決める因子、情報リテラシー、ビッグデータ、AI
- 第 2 回：エビデンス（根拠について）
経験的根拠と科学的根拠（理論的根拠、疫学的根拠）、経験的根拠のピットフォール、エビデンスレベル、EBMとNBM、DIPEx Japan、システマティック・レビュー、コクラン共同計画
- 第 3 回：健康・医学・医療情報の読み解き方（1）母集団と対照群
母集団（分母と分子）、選択的バイアス、比較、対照群の必要性
- 第 4 回：健康・医学・医療情報の読み解き方（2）横断的な見方と縦断的な見方
因果関係、因果の逆転、横断研究と縦断研究
- 第 5 回：健康・医学・医療情報の読み解き方（3）第3の要因
背景因子、交絡因子、適応による交絡
- 第 6 回：健康・医学・医療情報の読み解き方（4）検査値、評価指標の読み方
基準範囲と臨床判断値、平均への回帰、陽性適中率と陰性適中率、臨床的に有意な最小変化量（MID:minimal clinical important difference）
- 第 7 回：健康・医学・医療情報の読み解き方（5）情報の確からしさ
情報発信者（団体）、医学雑誌の信頼度、バイアス、標本数、点推定、信頼区間
- 第 8 回：インフォームド・コンセント（IC）での情報の提供方法
患者の求めているもの、ベネフィットとリスク、絶対リスクと相対リスク、フレーム効果、ラベリング
- 第 9 回：インフォームド・コンセントと個人情報保護
インフォームド・コンセントによる誘導・バイアス、追跡調査とインフォームド・コンセント
- 第 10 回：臨床試験（介入研究）（1）エンドポイント
真のエンドポイント、代理のエンドポイント、患者立脚型エンドポイント、patient-reported outcome
- 第 11 回：臨床試験（介入研究）（2）プラセボ効果
錯覚・ホーンソーン効果、プラセボ効果、RCT（二重盲検ランダム化比較試験）、PROBE法、ヘルシンキ宣言、実臨床との乖離
- 第 12 回：健康・医学・医療情報の検索（1）インターネット
医療広告規制、検索エンジン（Google、Google Scholar、PubMed）、チェックポイント（情報の発信者、更新日等）、受信能力と発信能力
- 第 13 回：健康・医学・医療情報の検索（2）病院情報システムとオープンデータ
病院情報システムの構成、オープンデータ
- 第 14 回：診療ガイドライン（1）
二次情報、診療ガイドラインの作成法、診療ガイドラインの目的、SDM、AGREE II、Minds
- 第 15 回：診療ガイドライン（2）
事例に対する診療ガイドラインの活用法の探求